

2025年度戦略的研究プロジェクト 公募説明会資料

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

戦略企画本部

2025年3月

目次

No.	内容	Page
1	戦略的研究プロジェクト概要	P2
2	応募から実施までの流れ、公募スケジュール	P3・4
3	応募要件	P5
4	予算措置について	P6
5	応募方法・提出期限・提出書類	P7
6	申請書（計画書、国際追記）	P8・9
7	提案内容の説明について	P10
8	国際共同研究について	P11
9	よくある質問	P12
10	問合せ先	P13

戦略的研究プロジェクト概要

情報・システム研究機構は共同利用・共同研究の機会を全国の研究者に提供することを目指しています。

また、生命、地球、環境、社会などの複雑な問題に対し、「情報とシステム」の視点から捉え、分野横断的な融合研究、データ駆動型研究に取り組んでいます。

異分野の連携を必要とする研究、特に**当機構内の研究所間で連携した融合研究**、**データ基盤構築に関する研究**テーマを募集します。

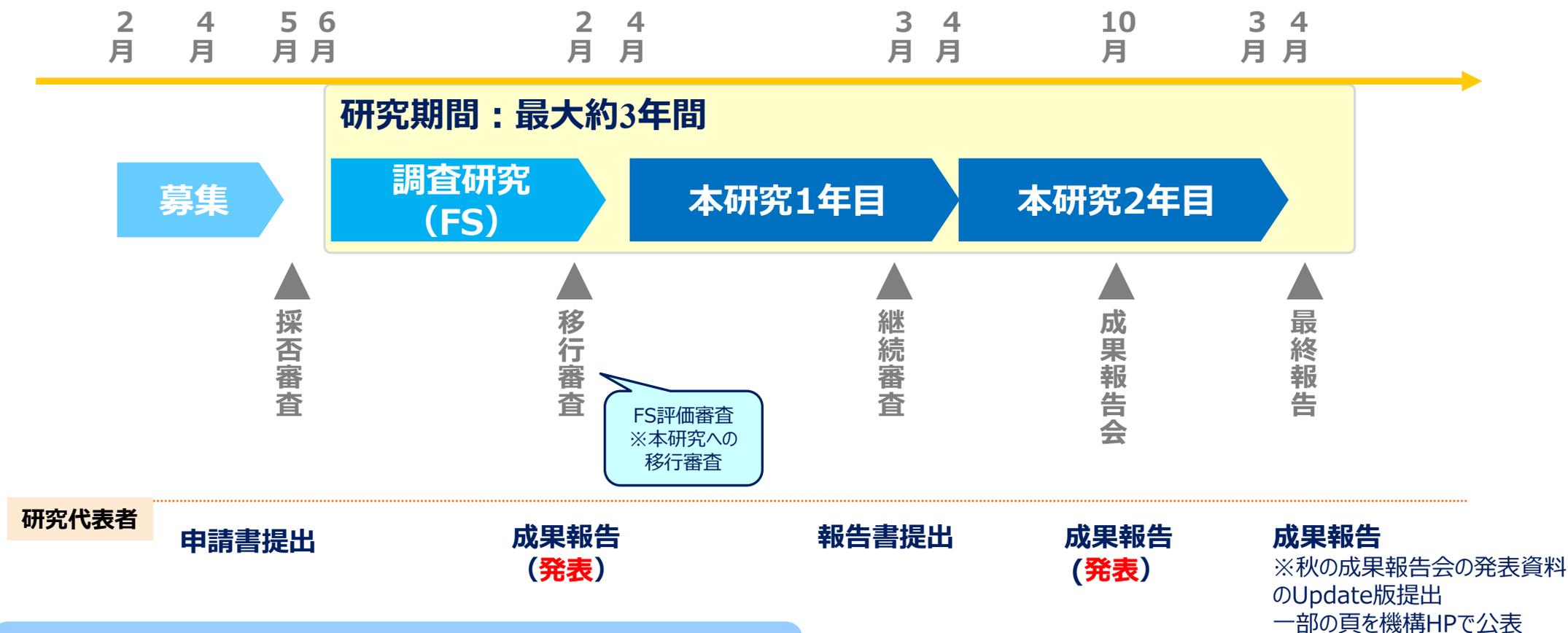
国際共同研究の支援を強化します。
若手研究者からの応募を歓迎します。

推奨する研究テーマを明示しました

- ✓ 異分野間の連携を必要とする研究
※特に**当機構内の研究所をまたぐ融合研究**
- ✓ データ基盤の構築に関する研究

応募から実施までの流れ

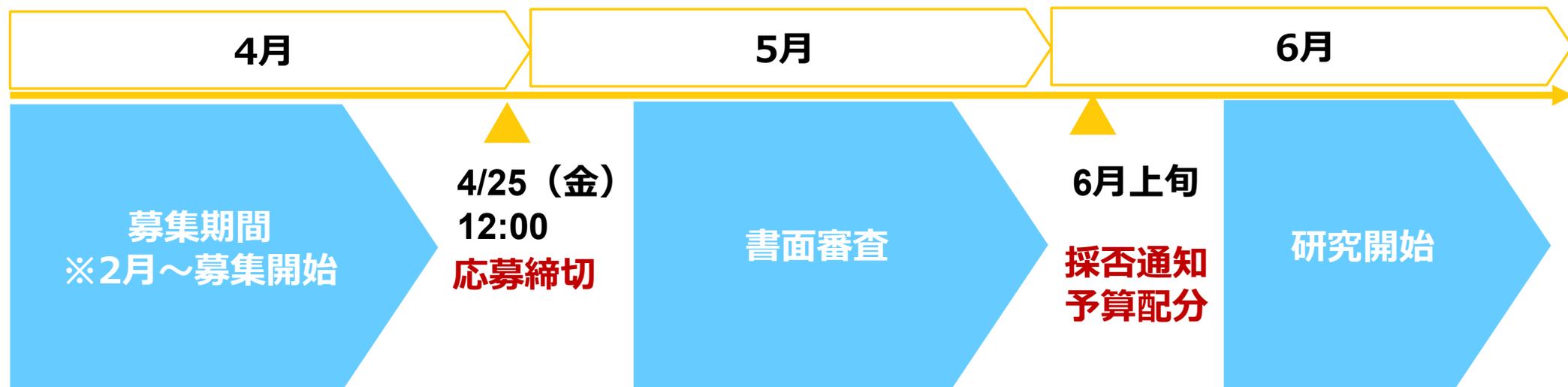
- 研究プロジェクトは最大3年間
- FS採否通知は6月上旬予定
- FS評価審査にて、本格的な研究に継続する価値があると判断された場合、2年目以降の本研究へ移行



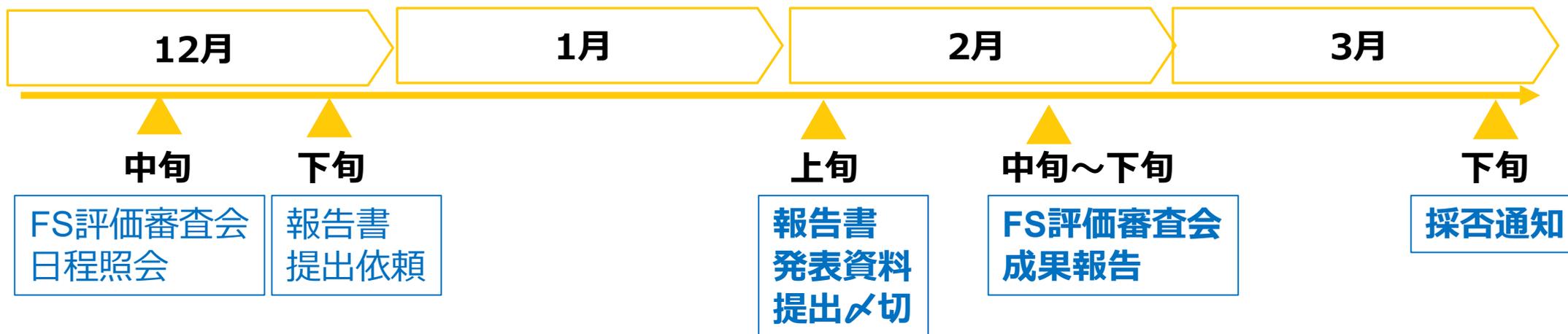
申請書作成の負担を軽減しました
具体的な研究計画の記載は初年度FS 1年間分のみ

各イベント月はおよその目安です。状況により変更となる場合があります。

公募スケジュール



書面審査の結果、5月中旬頃に
ヒアリング面談を求める場合があります



応募要件

- 研究代表者は、研究者番号を所有している国内研究者（国立大学法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、国立研究開発法人、国立研究機関に所属する研究教育職員・特任教員・特任研究員等）であること。
- 研究代表者が当機構に所属していない場合には、必ず当機構に所属する研究者が共同研究者に含まれること。また、当機構に所属する共同研究者のうち1名が予算執行責任者となること。

当機構内からの応募の場合
研究代表者 = 予算執行責任者

当機構外からの応募の場合
・研究代表者
・予算執行責任者 = 当機構内に所属する研究者※共同研究者

本年度から以下の応募要件は削除し、上記の2つのみになりました

- ✓ 「当機構に所属する研究代表者または共同研究者が、本プロジェクト終了後も当機構内で当該研究を継続できるテーマであること」条件は削除
※他機関へ転籍する可能性がある任期付き若手研究者にとって応募しにくい要件になっている可能性があるため削除
- ✓ 共同研究者の「研究者番号」要件削除
国外の研究者との共同研究も可

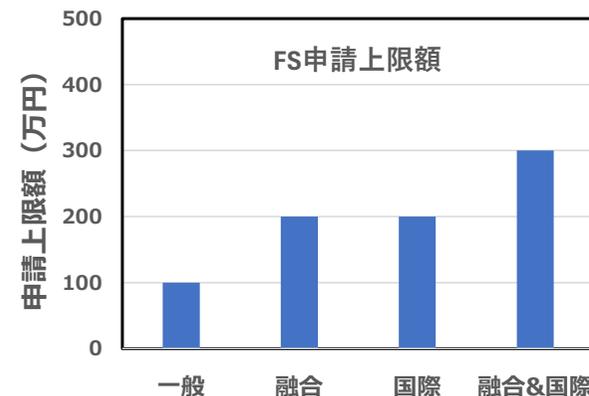
予算措置について

【FS（初年度）】

1件あたりの申請上限額 **100万円**

但し、以下の場合、さらに**各々100万円の増額**を認めます。

- **当機構内の研究所間で連携した融合研究**
 - **国際共同研究**
- 両方加算された場合、
FS申請額上限300万円



※当機構内の研究所間で連携した融合研究は①、②の両方を満たす研究です。

①機構内からの申請（**研究代表者が当機構に所属**）

②共同研究者の中に、研究代表者自身の所属以外の当機構内の研究所・施設に所属する研究者がいる研究

※**国際共同研究の増額についても、研究代表者が当機構に所属している場合のみ適用されます。**

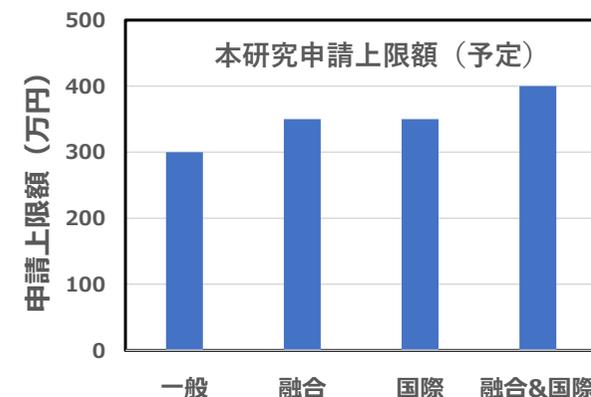
↑
FS申請額の増額は、
研究代表者が当機構に所属
している場合に限り
ます

【本研究（FS評価審査の結果本研究に進んだ場合）】 ※予定のため、変更の可能性あり

1件あたりの申請上限額 **300万円/年** 予定

但し、以下の場合、さらに**各々50万円の増額**を認める予定です。

- **当機構内の研究所間で連携した融合研究**
 - **国際共同研究**
- 両方加算された場合、
本研究上限400万円



特に推奨している研究を予算面で優遇します

「**当機構内の研究所をまたぐ融合研究**」「**国際共同研究**」

応募方法・提出期限・提出書類

- **応募方法** 共同利用・共同研究高度化支援システムJROIS (<https://jrois2.rois.ac.jp/>) にて提出期限までに申請登録を完了してください。

※研究代表者がJROIS上で**申請書** ※下記参照 をアップロードしてください。

- **提出期限**

2025年**4月25日（金）正午**

- **提出書類**

「**研究計画書**」を**申請書**として提出（JROISでアップロード）してください。

国際共同研究として応募する場合は、別紙「**国際追記**」を「**研究計画書**」と結合し、1つの申請書として提出してください。

様式は以下よりダウンロードしてください。

<https://www.rois.ac.jp/research/senryaku.html>



申請書提出前の担当副所長等の
事前確認手続きを省略しました

【注意事項】

当機構外の申請者（研究代表者）は、予め所属長による承諾を得て、「研究計画書」内の該当欄にチェックを入れてください（次ページ参照）。（当機構に所属する研究代表者は所属長の承諾は必要ありません。）

申請書（研究計画書）

「研究計画書」 ※一部の頁のみ表示しています

別紙1
 2025年度戦略的研究プロジェクト計画書

提出日 2025年 月 日

1. 研究課題名 / Title of Proposed Research Project

研究課題名 (和文/Jpn)	
English Title (英文/Eng)	

研究カテゴリ 未来投資（新分野・新領域開拓）
 /Category 異分野融合（複合分野・多機関との共同研究推進）
 地球規模課題・社会課題（喫緊の課題への対応）

「研究カテゴリ」を選択（複数選択可）してチェックを入れてください。☑

2. 申請者（研究代表者） / Applicant (Research Representative)

氏名/Name	
所属機関/Institution	
部局/Department	
職名/Job Position	
連絡先/Contact	E-mail : _____ Tel : _____
若手研究者	<input type="checkbox"/> 40歳未満/under age 40

若手研究者（40歳未満）の場合は、「若手研究者」欄にチェックを入れて下さい。☑

3. 予算執行責任者（所内受入責任教員） / Coordinator responsible for budget execution in ROIS
 （研究代表者と同一の場合は”同上”と記載してください。）

氏名/Name	
所属機関/Institution	
部局/Department	
職名/Job Position	
連絡先/Contact	E-mail : _____ Tel : _____
若手研究者	<input type="checkbox"/> 40歳未満/under age 40

若手研究者（40歳未満）の場合は、「若手研究者」欄にチェックを入れて下さい。☑

4. 共同研究者 /Co-Researcher

氏名 Name	所属機関 Institution	部局 Department	職名 Position	若手 ※	共同研究における役割 Role in this Project
○○○○○	○○○○○○○○	○○○○○○	○○○○○	<input checked="" type="checkbox"/>	○○○○○○○○○○
				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	

若手研究者（40歳未満）の場合は、「若手※」欄にチェックを入れて下さい☑

5. 所属長の承諾（情報・システム研究機構外に所属の研究代表者のみ）
 当機構外に所属する申請者（研究代表者）は、所属長による下記の確認事項についての承諾が必要です。所属機関で下記の事項について承諾を得た後、下にチェックを入れてください。
 公印の押印は必要ありません。

研究代表者の所属長	
役職名	
氏名	
確認事項	<input type="checkbox"/> 申請者（研究代表者）が2025年度 情報・システム研究機構 戦略的研究プロジェクトに申請し、研究を実施することを承諾します。 なお、申請者のかかわる研究不正が発覚し、該当する研究内容に本プロジェクト費用が用いられたことが判明した場合は、プロジェクト費用の返還について同意いたします。

当機構外の申請者（研究代表者）は、予め所属長による承諾を得て、「研究計画書」内の該当欄にチェックを入れてください。
 （当機構に所属する研究代表者は所属長の承諾は必要ありません。）

承諾書を別紙としていましたが、本年度より研究計画書内に確認欄を設けました

申請書（国際追記）

「国際追記」 ※「国際共同研究」として応募する場合に提出

別紙1(国際追記1)

2025年度戦略的研究プロジェクトにおける国際共同研究の支援強化の追記

1. MoU締結情報及び共著論文の情報等

MoU締結に関する情報とMoUから生まれた共著論文(論文情報)について記載してください。共著論文は投稿予定あるいは投稿中についても記載してください。なお、MoU締結に至る基となる国際共著論文をご存知の場合は、その論文情報についてもご記入ください。

MoU締結に関する情報

相手先機関名	国名	締結時期	MoU名称	備考

MoUに基づいて生まれた共著論文情報

著者名	論文タイトル	雑誌名	Vol, 頁, DOI, 発行時期等	備考

MoU締結に至る基になった国際共著論文

著者名	論文タイトル	雑誌名	Vol, 頁, DOI, 発行時期等	備考

2. 国際共同内容 (A4 1ページ程度で①目的及び到達目標、②実施計画と方法について簡潔にまとめて記載して下さい。戦略的研究プロジェクトの提案書で既に国際共同研究を記載している場合は、追記すべき内容が無ければ省略も構いません)

「国際共同研究」については、P11をご参照ください。

「国際共同研究」を本プロジェクト内で支援することになりました

➤ プロジェクトとしての意義

提案の意義や将来的な展望について具体的に説明

point : **他分野の審査委員に対して提案の重要性が訴求できているか**

ROISの各研究所等の担当副所長、及び外部有識者の研究者が審査します。
専門分野外の審査委員にも内容が十分伝わるように記入してください。

➤ 挑戦性、独自性(新規性)、有用性、実現性 1つ以上選択して説明

- 挑戦性：新しい問題を定義し、これに挑戦すること
- 独自性(新規性)：既知の問題に対して、オリジナリティのあるアプローチを取ること
- 有用性：その成果が幅広く研究者コミュニティや社会に貢献しうるもの
- 実現性：遂行可能な研究計画に基づき、本研究終了後の実用化等の見込みがあること

➤ 大学共同利用機関における共同利用・共同研究に向けた発展の可能性

- 分野横断的な共同研究
- データベースの提供や解析手法の提供に関する研究

➤ 国際共同研究

1. 「国際共同研究」の活動について

これまで別のプロジェクト(国際NW形成・MoU推進プロジェクト)で支援していた下記の4つの活動を「**国際共同研究**」として戦略的研究プロジェクトで支援します。

①国際ワークショップ、②MoU締結に向けた活動、③MoU締結後の活動、④国際共同研究

2. 予算について

- FS申請時に、通常の申請額上限100万円に対して、更に100万円までの増額を認めます。
本研究では、通常の申請上限額に対して50万円までの増額を認める予定です。
※**但し、これらの増額は研究代表者が当機構に所属している場合に限りです。**
- 従来の国際ワークショップの会場費等の支出も認められます。
※国際ワークショップ開催の場合、次年度開催のワークショップの準備のための支援も対象とします。
(但し、執行は年度内に行ってください)
- 海外出張費が、(国際共同研究として増額された) 100万円を超えても差し支えございません。
但し、研究費を圧迫するので、なるべくオンライン会議等を利用することをお勧めします。

3. 「国際共同研究」の報告項目について

- ①MoU締結情報 ※既に締結済みの場合は申請時にMoU締結情報を記載
- ②国際共著論文 ※支援終了後にもアクセプトされた論文情報をJROISを通じて報告

よくある質問

種類	質問	回答
申請	申請書は英語で記入してもよいですか。	はい。英語で記入していただいてもよいです。
予算執行	本プロジェクトの予算で、採択通知日より以前に購入した消耗品等を、本プロジェクト予算で賄ってよいですか。	いいえ。採択通知日より以前に購入した消耗品や旅費等についての予算執行の振替は認められません。
予算執行	申請時に計上していなかった費目でも、計画に合致しているものであれば執行可能ですか。	計画内容に合致しており、当該プロジェクトを実施する上で必要である場合は執行可能です。 但し、用途を変更する費目金額の総額が、配分額の総額の50%以上の場合は、変更申請が必要です。 【注意事項】 <ul style="list-style-type: none">・人件費は対象外です。・会議費は支出できません。・物品はプロジェクト遂行に必要な用途に限ります。本来、研究所・施設が購入すべき基盤物品を含むことはできません。
予算執行	配分された予算の来年度への繰り越しは可能ですか。	来年度への繰り越しは認められません。配分された予算は、年度内に執行してください。

情報・システム研究機構 戦略企画本部

E-mail : jigyo [at] rois.ac.jp ※(at) は @ に置き換えてください

電話番号: 03-6402-6223

戦略的研究プロジェクトについての詳細はWebページをご覧ください

<https://www.rois.ac.jp/research/senryaku.html>

